

2024年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年9月14日

上場会社名 株式会社TOKYO BASE 上場取引所 東
コード番号 3415 URL <https://www.tokyobase.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 谷 正人
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 中水 英紀 TEL 03-6712-6842
四半期報告書提出予定日 2023年9月14日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年1月期第2四半期の連結業績（2023年2月1日～2023年7月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年1月期第2四半期	9,656	8.6	316	-	413	101.6	193	-
2023年1月期第2四半期	8,896	8.9	△15	-	205	△49.7	△0	-

（注）包括利益 2024年1月期第2四半期 107百万円（-％） 2023年1月期第2四半期 △33百万円（-％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年1月期第2四半期	4.21	4.11
2023年1月期第2四半期	△0.01	-

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年1月期第2四半期	10,993	5,382	48.9
2023年1月期	11,195	5,366	47.9

（参考）自己資本 2024年1月期第2四半期 5,374百万円 2023年1月期 5,358百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年1月期	-	0.00	-	2.00	2.00
2024年1月期	-	0.00	-	-	-
2024年1月期（予想）	-	-	-	4.00	4.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年1月期の連結業績予想（2023年2月1日～2024年1月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	4.3	1,500	597.6	1,480	457.0	1,000	-	21.80

（注1）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

（注2）当社は、年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略していません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 - 社（社名）、除外 - 社（社名）
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
（注）詳細は、添付資料11ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年1月期2Q	48,493,800株	2023年1月期	48,493,800株
② 期末自己株式数	2024年1月期2Q	2,627,418株	2023年1月期	2,627,418株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年1月期2Q	45,866,382株	2023年1月期2Q	45,871,382株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料6ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	12
(追加情報)	12
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症については2023年5月に5累への移行に伴う行動制限の解除及びインバウンドの増加により消費活動が正常化に向かい、緩やかな回復傾向が見受けられております。一方、世界的な資源価格の上昇や為替変動による物価上昇などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

中国本土においても、ゼロコロナ政策解除後は一定程度の回復が見受けられたものの、不動産市場の悪化など先行きが不透明な状況から個人消費が停滞いたしました。

このような状況のもとで、当社は、売上総利益率向上、既存店強化、営業力強化、中国事業強化などによる収益体質の強化と利益の最大化を進めております。

① 経営成績の状況

(連結経営成績)

(単位：千円)

	2023年1月期 第2四半期 連結累計期間 (自2022年2月1日 至2022年7月31日)	2024年1月期 第2四半期 連結累計期間 (自2023年2月1日 至2023年7月31日)	増減	増減率
売上高	8,896,057	9,656,688	760,630	8.6%
売上総利益	4,540,955	4,871,726	330,770	7.3%
販売費及び一般管理費	4,556,694	4,555,206	△1,488	△0.0%
営業利益又は営業損失(△)	△15,738	316,519	332,258	—
経常利益	205,217	413,752	208,534	101.6%
税金等調整前四半期純利益	168,854	423,627	254,773	150.9%
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半 期純損失(△)	△514	193,053	193,568	—

(売上高)

国内においては、消費活動が正常化に向かいはじめ、人流の増加及びインバウンド購買客数の増加、A+ TOKYO及びTHE TOKYOが伸長いたしました。一方で中国本土においては、ゼロコロナ政策解除後は一定程度の回復が見受けられたものの、4月以降は経済状況の悪化による外的要因と商品の品揃えの鮮度を欠いたことや営業力の低下により苦戦いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は9,656,688千円(前年同期比8.6%増)となりました。

(売上総利益)

売上総利益は売上の増加に伴い増加いたしました。一方で売上総利益率は50.4%(前年同期比0.6ポイント減)となり、主な要因は中国現地法人の在庫消化に伴う値引き販売の増加によるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上総利益は4,871,726千円(前年同期比7.3%増)となりました。

(販売費及び一般管理費、営業利益)

当第2四半期連結累計期間の販売費及び一般管理費について、国内においては売上増加に伴い販売手数料、地代家賃及び支払手数料が増加したものの、中国現地法人においては退店に伴う人件費、減価償却費及び業務委託費が減少した結果、売上高販管費率は47.2%(前年同期比4.1ポイント減)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における販売費及び一般管理費は4,555,206千円(前年同期比1,488千円減)、営業利益は316,519千円(前年同期は営業損失15,738千円)となりました。

(営業外損益、経常利益)

営業外収益は前第2四半期連結累計期間に比較して134,201千円減少し、117,231千円となりました。主な要因は為替差益の減少によるものです。

営業外費用は前第2四半期連結累計期間に比較して10,477千円減少し、19,998千円となりました。主な要因は支払利息の減少によるものです。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における経常利益は413,752千円（前年同期比101.6%増）となりました。

(特別損益、税金等調整前四半期純利益、親会社株主に帰属する四半期純利益)

特別利益は、前第2四半期連結累計期間に比較して35,138千円増加しました（前年同期は特別利益の計上なし）。内容は債務勘定整理益であり、中国現地法人で前連結会計年度に計上した店舗解約損失の支払額について商業施設側との交渉により減額したことによるものです。

特別損失は、前第2四半期連結累計期間に比較して11,099千円減少し、25,264千円となりました。主な要因は中国現地法人の一部地域及び商業施設からの退店に伴う減損損失によるものです。

以上の結果、税金等調整前四半期純利益は423,627千円（前年同期比150.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は193,053千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失514千円）となりました。

(補足情報)

I. 業態別売上高

(単位：千円)

	2024年1月期 第2四半期 連結累計期間 (自2023年2月1日 至2023年7月31日)	前年同期比 (増減率)
STUDIOUS	4,376,323	6.3%
UNITED TOKYO	2,739,527	△0.5%
PUBLIC TOKYO	1,704,085	4.6%
A+ TOKYO	382,758	32.1%
THE TOKYO	599,176	121.3%
その他	△145,183	11.9%
全社合計	9,656,688	8.6%

(注) 「その他」は売上高に与える収益認識基準の影響額等となっております。

II. 業態別売上高既存店前年同期比

	2024年1月期 第2四半期 連結累計期間 (自2023年2月1日 至2023年7月31日)
STUDIOUS	106.3%
UNITED TOKYO	97.4%
PUBLIC TOKYO	106.0%
A+ TOKYO	126.8%
THE TOKYO	130.0%
全社合計	104.5%

Ⅲ. 出退店及び店舗数

業態	2023年1月期 連結会計 年度末	2024年1月期 第2四半期 連結累計期間				2024年1月期 第2四半期 連結会計 期間末
		出店	退店	増減	(改装)	
STUDIOUS	43	—	2	△2	(1)	41
UNITED TOKYO	24	—	5	△5	—	19
PUBLIC TOKYO	18	—	2	△2	—	16
A+ TOKYO	6	—	—	—	—	6
THE TOKYO	6	—	—	—	—	6
全社合計	97	—	9	△9	(1)	88

2024年1月期第2四半期連結累計期間における店舗展開については以下のとおりです。

■STUDIOUS業態

- 「STUDIOUS MENS 新宿店」を増床改装
- 「STUDIOUS 武漢店」を退店
- 「STUDIOUS WOMENS 二子玉川店」を退店

■UNITED TOKYO業態

- 「UNITED TOKYO 武漢店」を退店
- 「UNITED TOKYO 成都店」を退店
- 「UNITED TOKYO 北京店」を退店
- 「UNITED TOKYO 深圳万象天地店」を退店
- 「UNITED TOKYO 深圳前海万象城店」を退店

■PUBLIC TOKYO業態

- 「PUBLIC TOKYO 成都店」を退店
- 「PUBLIC TOKYO 深圳前海万象城店」を退店

この結果、2024年1月期第2四半期連結会計期間末における店舗数は、STUDIOUS業態が41店舗（内、ECが3店舗）、UNITED TOKYO業態が19店舗（内、ECが2店舗）、PUBLIC TOKYO業態が16店舗（内、ECが2店舗）、A+ TOKYO業態が6店舗（内、ECが2店舗）、THE TOKYO業態が6店舗（内、ECが2店舗）の合計88店舗となりました。

なお、実店舗は全77店舗となり、国内57店舗、海外20店舗となりました。

(注) 連結対象である東百国際貿易（上海）有限公司の第2四半期決算期末は6月であり、当社の第2四半期決算期末の7月とは1ヶ月間異なりますが、それぞれの第2四半期決算期末に合わせて出退店及び店舗数を記載しております。なお、東百国際貿易（上海）有限公司の2023年7月の出退店はありません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比較して202,099千円減少し、10,993,532千円となりました。これは主として、現金及び預金が417,501千円増加した一方で、有形固定資産が564,478千円、商品が64,149千円減少したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比較して218,233千円減少し、5,611,031千円となりました。これは主として、長期借入金が475,126千円増加した一方で、買掛金が297,060千円、短期リース債務が150,764千円、長期リース債務が206,199千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比較して16,133千円増加し、5,382,500千円となりました。これは主として、利益剰余金が親会社に帰属する四半期純利益により193,053千円増加、一方で配当金の支払により91,732千円、為替換算調整勘定が85,187千円減少したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、資金という。）は、前連結会計年度末から417,501千円増加し、2,922,147千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は、273,455千円（前年同期比103,915千円減）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上423,627千円、減価償却費535,850千円、一方で仕入債務の減少額389,662千円、未払費用の減少額35,567千円、債務勘定整理益35,138千円、法人税等の支払額166,962千円があったためです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果支出した資金は、127,974千円となりました。（前年同期比227,577千円減）これは主に、保証金の回収による収入20,780千円、一方で有形固定資産の取得による支出80,147千円、差入保証金の差入れによる支出10,971千円、資産除去債務の履行による支出36,765千円があったためです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果得られた資金は、262,595千円（前年同四半期は200,278千円の支出）となりました。これは主に、長期借入れによる収入1,100,000千円、一方で長期借入金の返済による支出436,515千円、リース債務の返済による支出309,443千円、配当金の支払額91,445千円があったためです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については2023年3月15日の「2023年1月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,504,646	2,922,147
売掛金	1,233,871	1,221,900
商品	2,641,633	2,577,483
その他	142,405	165,347
流動資産合計	6,522,557	6,886,878
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,997,148	1,802,262
工具、器具及び備品(純額)	102,297	86,142
使用権資産(純額)	1,003,859	650,421
有形固定資産合計	3,103,305	2,538,827
無形固定資産		
ソフトウェア	65,088	50,550
無形固定資産合計	65,088	50,550
投資その他の資産		
繰延税金資産	122,641	122,641
差入保証金	1,366,467	1,364,142
その他	15,570	30,491
投資その他の資産合計	1,504,680	1,517,275
固定資産合計	4,673,073	4,106,653
資産合計	11,195,631	10,993,532
負債の部		
流動負債		
買掛金	862,485	565,424
短期借入金	1,100,000	1,100,000
1年内返済予定の長期借入金	819,864	1,008,221
未払費用	581,062	546,451
未払法人税等	201,118	264,571
リース債務	565,687	414,923
契約負債	87,385	63,860
賞与引当金	62,102	59,634
その他	308,720	96,251
流動負債合計	4,588,425	4,119,338
固定負債		
長期借入金	697,225	1,172,351
リース債務	464,506	258,306
資産除去債務	79,107	61,033
固定負債合計	1,240,839	1,491,692
負債合計	5,829,264	5,611,031

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	564,537	564,537
資本剰余金	863,306	863,306
利益剰余金	5,273,731	5,375,052
自己株式	△1,361,785	△1,361,785
株主資本合計	5,339,790	5,441,111
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	18,576	△66,610
その他の包括利益累計額合計	18,576	△66,610
新株予約権	8,000	8,000
純資産合計	5,366,366	5,382,500
負債純資産合計	11,195,631	10,993,532

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年7月31日)
売上高	8,896,057	9,656,688
売上原価	4,355,101	4,784,962
売上総利益	4,540,955	4,871,726
販売費及び一般管理費	4,556,694	4,555,206
営業利益又は営業損失(△)	△15,738	316,519
営業外収益		
受取利息	327	97
助成金収入	20,433	8,122
為替差益	228,191	102,577
その他	2,481	6,433
営業外収益合計	251,433	117,231
営業外費用		
支払利息	28,583	19,301
支払手数料	1,500	—
その他	393	697
営業外費用合計	30,476	19,998
経常利益	205,217	413,752
特別利益		
債務勘定整理益	—	35,138
特別利益合計	—	35,138
特別損失		
減損損失	36,158	25,264
その他	204	—
特別損失合計	36,363	25,264
税金等調整前四半期純利益	168,854	423,627
法人税等	169,368	230,573
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△514	193,053
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△514	193,053

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年7月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△514	193,053
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△33,305	△85,187
その他の包括利益合計	△33,305	△85,187
四半期包括利益	△33,819	107,866
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△33,819	107,866
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	168,854	423,627
減価償却費	596,946	535,850
ソフトウェア償却費	13,575	14,580
債務勘定整理益	—	△35,138
減損損失	36,158	25,264
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△14,940	△2,544
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△95,249	—
受取利息及び受取配当金	357	△97
支払利息	28,583	19,301
売上債権の増減額 (△は増加)	△27,698	15,366
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△156,997	85,125
仕入債務の増減額 (△は減少)	25,995	△389,662
未払費用の増減額 (△は減少)	18,021	△35,567
その他	91,967	△180,292
小計	685,571	475,812
利息及び配当金の受取額	△357	97
利息の支払額	△28,572	△19,289
店舗解約に伴う違約金の支払額	—	△16,202
法人税等の支払額	△279,271	△166,962
営業活動によるキャッシュ・フロー	377,371	273,455
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△398,157	△80,147
ソフトウェアの取得による支出	△4,755	—
資産除去債務の履行による支出	△28,885	△36,765
差入保証金の差入による支出	△65,617	△10,971
差入保証金の回収による収入	142,413	20,780
その他	△550	△20,871
投資活動によるキャッシュ・フロー	△355,552	△127,974
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	800,000	—
長期借入れによる収入	—	1,100,000
長期借入金の返済による支出	△629,087	△436,515
リース債務の返済による支出	△371,691	△309,443
配当金の支払額	—	△91,445
新株予約権の発行による収入	500	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△200,278	262,595
現金及び現金同等物に係る換算差額	40,429	9,425
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△138,031	417,501
現金及び現金同等物の期首残高	3,145,275	2,504,646
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,007,244	2,922,147

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の影響に関しては、2023年8月以降も継続するものの、売上は一定程度回復するとの仮定を置いて見積りを行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2022年2月1日 至 2022年7月31日）

当社グループは、衣料品販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2023年2月1日 至 2023年7月31日）

当社グループは、衣料品販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。